

わたしの聖戦

◎◎女性が働くところの現状◎◎ 59

医学ジャーナリスト・医学博士 植田美津江

変身番組におもう

主に女性をターゲットに、美の専門家たちの手によって主人公をこれまでとはまったく違う姿かたちに変えてしまう番組がある。

自分の容姿に自信のない女性のみずから申し込み、素顔をそっくりさらけ出し、そののちプロたちの手にかかり見違えるように美しくなる過程を追う。変身後スタジオに

姿を現したときの周囲の驚きと羨望、また当人たちの嬉しそうな笑顔がそのまま画面を通して伝わってくる。

変身というとき、ケースによって顔にメスを入れることがある。番組では整形を積極的に推奨

しているわけではないとお断りが丁寧に流れるところもなんだか面白い。なかには、整形しなくても髪型と化粧を変えただけで相当にグレイドアップする場合もあるが、やはり前後の落差を楽しむには、ある程度思い切ったことをしないと見るほうとしても面白みに欠けてしまう。

この手の番組は日本だけでなく、各国で似たようなのが結構あることを知った。イギリスでは、むしろ整形せずとも変わることを納得させ、最終的に整形をするかしないかを選ばせるという、ちよつと趣向の変わった番組もある。

一部からは批判があったようだが、これほどテレビという媒体のメリツトを生かした内容はそう多くない。何せ、あまり美しいとはいえない素のときと変身後の違いが一目瞭然、どのように変えていくかの手法も紹介さ

変身後の違いが一目瞭然



れ、その道のプロ仕事を覗き見ることができると、普通はないことだろう。色々なテレビ番組があるなかで、この種のもは実にスリリングだし、わかりやすく爽快感に似た感情も味わえる。間違いなくテレビの演出性を存

分に生かしている。人間は見た目ではなく、中身が大事だと小さな頃から教えられる。外面の美しさより、こころの美しさのほうがはるかに尊いのだとも聞く。しかし実際、大人になるにつれてそのような教えが現実のとおりだと納得できる人はどれぐらいいるだろうか。

学校の教師だって、不細工な子より可愛い子にやさしい気がしてならない。どう考えても男の子の注目を浴びるのは、見栄えのいい子である。社会に出ても同じこと。コンパに誘われるのも、結婚退社をするのも、やはり美女のほうに絶対有利である傾向は変わらない。私も美しくなりたい、きれいになつたらひねくられることもなく、逆にも

つとやさしい素直な気持ちになれる。もつと目がぱつちりと大きかったら、もつと唇がっぼみのようなだったら、もつと胸が大きかったら、もつともつと…。そのあふれんばかりの欲求や願いを否定することはできない。その容姿ゆえ親兄弟からも冷たくあしらわれ、いじめられていた人が、見事に変身したときの喜びや感謝があからさまに紹介されたとき、見ているこちらが思わずもらい泣きしてしまふこともあつた。

親からもらったからだにメスを入れる抵抗もあるだろうし、美の基準が明確なわけではないが、それこそ顔かたちの変化というより、勇気を出してみずからを多くの人々の前にさらし、それを積極的に変えていこうとする彼女たちの熱い心意気にこそ拍手を送りたいと思うのである。

イラスト・三浦義雄